

■温室効果ガス削減の目標

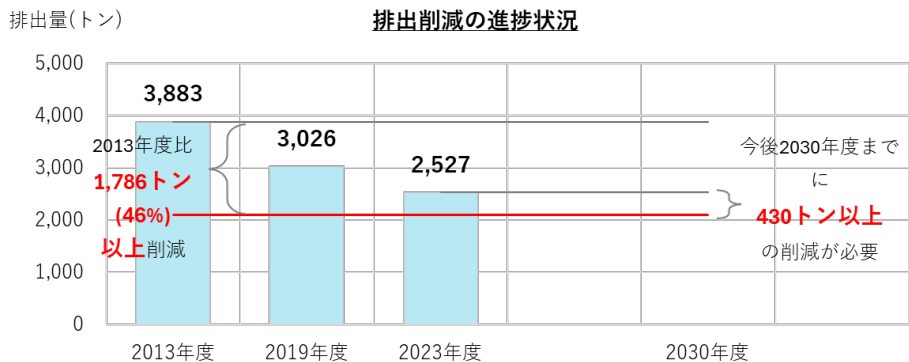
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (1,786トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の推移

高松空港の2023年度の温室効果ガス排出量は、2019年度比499トン減少の2,527トンである。
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後430トン以上の削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)		
	2013年度	2019年度	2023年度
空港施設	3,604	2,746	2,227
空港車両	279	280	300
計	3,883	3,026	2,527

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数・・・2013年度：0.656、2019年度：0.528、2023年度：0.454

■2019年度～2023年度の温室効果ガス排出量の増減背景

高松空港では、コロナ禍前(2019年度)と比べ2023年度の旅客数は9割程度に留まっており、主に契約されている電力会社の排出係数も低下している。さらに脱炭素化施策の取組が行われていることを背景に、温室効果ガス排出量は2019年度に比べて減少した。

■脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	➤ 建築施設照明のLED化、建築施設の熱負荷低減、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。
空港車両に係る取組	➤ 電動車への更新、電動TT車等の実証実験が行われた。
再生エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)